

緊急報告
小竹向原駅・都立城北中央公園



板橋区議会議員

おおの
大野
はるひこ
治彦

「ひたすら板橋のために」
生まれ育った、この街のために

HARUHIKO OHNO

連続 5 期当選、地元板橋、消防団団長



～着実な成果で恩返し～

小竹向原駅エレベーター設置 / 都立城北中央公園再整備

小竹向原駅1番出口エレベーター設置について、現在、東京メトロと西武鉄道の間で前向きな協議が続けられている。両社は共通の方向性のもと、すでに調査・測量を開始しており、2025年内には設置の実現可能性を確認し、基本計画の策定に入る予定としている。ただし、2025年12月までに完了するとは限らず、できる限り早期の完了を目指すとのこと。工事は駅構造上の課題から6～8年を要し、計画開始から完了まで約10年かかる見込み。

こうした中、東京メトロは4月28日に公表した中期経営計画において、小竹向原駅のエレベーター設置について「設置の実現に向けて検討を促進」と明記された。

事業戦略: 運輸業(鉄道事業)

鉄道事業の安全性・利便性向上(お客様の円滑な移動の実現)

すべてのお客様が快適に利用できるような駅や車両のさらなるバリアフリー化のため、ホームドア整備(2025年度全駅設置完了予定^{※1})やエレベーター整備等を促進します。

バリアフリー化の促進

■エレベーター整備
EV1ルート整備完了・2030年度目標
(EV1ルート整備)
・残る3駅(東武一丁 西武 中野駅・八丁 西武)の整備に精力的に取り組む

■ホームと車両床面の段差・隙間縮小
2027年度
全駅整備完了予定^{※1}

■ホームドア整備
2025年度
全駅設置完了予定^{※1}

■車内更新
2025年度
導入完了予定

▼車内のフリースペース
駅内において、お客様が自由に利用できるフリースペースを、ホーム・車内・車両に設置

■複数ルート整備
・浅草駅※2: 2026年度供用開始予定
・築地駅: 2026年度供用開始予定
※2 東京都交通局との乗換ルート兼用
・小竹向原駅: 設置の実現に向けて検討を推進

今後も一日も早い実現に向け、関係機関との協議を重ねてまいります。

都立城北中央公園の再整備については、これまで練馬区議会議員の仲間と協力しつつ、東京都に対して再整備と調節池上部利用について度重なる申し入れを行ってきた。

小池都知事と坂本板橋区長の間でも今後の予定と具体的な内容が確認され、地域住民のニーズに応えながら、再整備が促進されていくことが確認されている。

こうした状況を受けて、東京都ではR7年度予算の中で、再整備に向けた調査費を計上することが決定し、陸上競技場の整備が進む見通しとなった。

これまで、多方面よりグラウンド整備、照明塔の復活、簡易観客スタンドの設置、各種スポーツグラウンドの整備、駐車場の設置、地域の治安対策などを要望してきた。今回の調査費計上はその一歩であり、これまで動かなかった再整備事業が着実に進むきっかけとなる。

今後も関係各所と連携しながら、地域にお住いの皆様と対話を重ね、多くの人にとって魅力ある公園整備となるよう努めて参ります。

【小竹向原駅1番出口エレベーター設置について】

- R5年5月 衆議院議員岡本三成事務所に公明党田中功夫議員と訪問。地域住民の要望を伝える。
- 同年7月 前衆議院議員下村博文事務所で国土交通省と面会。設置計画予定などを確認。
- R6年9月 下村博文事務所で再度面談。
- 同年12月 岡本三成事務所で再度面談。
- 同年12月 衆議院・高木啓議員が東京メトロ執行役員と面談
- R7年3月 自民党板橋総支部にて下村博文前議員と東京メトロ執行役員との面談。前向きな方向性を確認。

【都立城北中央公園再整備について】

- R5年12月 前衆議院議員下村博文事務所で同僚議員と共に、東京都と国土交通省に要望を伝える。
- ※同年11月練馬区の福沢剛区議会議員に協力を要請。
- R6年2月 板橋区議会と練馬区議会の幹部顔合わせ。
- 同年5月 練馬区議会にて板橋区と練馬区の受け止め方の確認。
- 同年6月 衆議院議員会館で下村博文前議員、松田康将都議、同僚区議と共に東京都に要望を再度伝える。
- 同年11月 練馬区の福沢剛議員の元へ同僚議員と訪問。
- 同年11月 小池都知事と坂本区長との意見交換の具体的な回答を東京都より確認。再度要望を伝える。